

2026年3月期 第3四半期決算説明会

2026年1月30日
株式会社エンプラス
(東証プライム 6961)

目次

決算概況

- 2026年3月期 第3四半期 決算説明
- 2026年3月期 業績見通し
- 参考(事業戦略、中期経営計画)

決算概況

決算のポイント

2026年3月期 第3四半期 損益実績

- 前年同期比で大幅増収増益。**10月の想定を上回る**着地(売上高の進捗率**79%**、営業利益の進捗率**98%**)

Semiconductor事業

- 3Qはサーバーが好調継続、車載SoCが大幅増。10月想定から**大幅に上振れ**
- 当社の競争優位性が高い**サーバー、車載SoC**は、新規/既存顧客向け売上拡大により**過去最高水準**
- 4Q以降もAI用サーバー向けの手GPUメーカーに加えて、ハイパースケーラー向けの**ASIC関連**が増加し、好調な見通し

Life Science事業

- 一部量産品の生産終了に伴い2Qは一時的に販売が増加(7月想定から変更なし)

Digital Communication事業

- 3Qは1.6T光トランシーバー用レンズの**量産開始**
- 3.2Tや6.4T向け**CPO(Co-Packaged Optics)関連部品**の開発進捗、一部サンプル受注

Energy Saving Solution事業

- 3Qの自動車用部品は、当社が注力する**低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡販**により堅調

2026年3月期 第3四半期損益実績(連結)

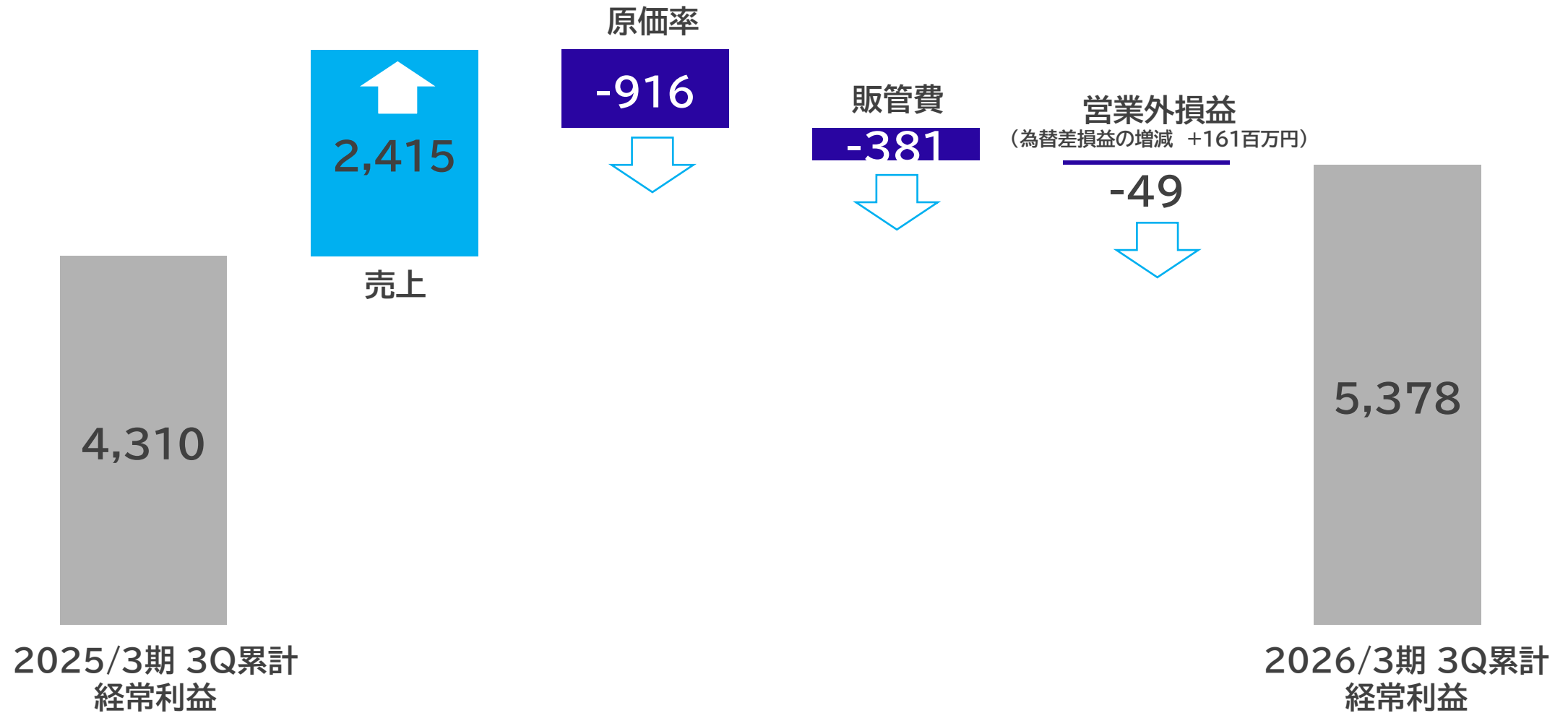
(単位: 百万円)

	2025/3期 3Q累計実績	2026/3期 3Q累計実績	増減	(参考) 通期計画
売上高	28,805	32,374	+12.4%	41,000
売上原価率	53.8%	54.3%	+0.5pt	55.4%
営業利益	4,084	5,200	+27.3%	5,300
営業利益率	14.2%	16.1%	+1.9pt	12.9%
経常利益	4,310	5,378	+24.8%	5,500
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,872	3,876	+35.0%	4,100
1株当たり四半期純利益	325.21円	437.05円	+111.84円	462.21円
期中平均レート(US\$)	152.85円	149.30円	-3.55円	(下期計画レート) 140.00円

為替感応度(US\$):売上高 約200百万円/年、営業利益 約150百万円/年

経常利益の増減分析＜前3Q累計比＞

(単位: 百万円)



2026年3月期 第3四半期セグメント別実績(連結)

(単位: 百万円)

		2025/3期	2026/3期	
		3Q累計実績	3Q累計実績	増減
Semiconductor	売上高	11,986	17,851	+48.9%
	売上原価率	52.2%	46.2%	-6.0pt
	営業利益	1,109	4,159	+274.9%
Life Science	売上高	2,109	2,882	+36.7%
	売上原価率	62.0%	63.5%	+1.5pt
	営業利益	126	485	+282.1%
Digital Communication	売上高	4,109	1,170	-71.5%
	売上原価率	22.3%	51.2%	+28.9pt
	営業利益	2,221	-161	-
Energy Saving Solution	売上高	10,599	10,469	-1.2%
	売上原価率	66.2%	65.9%	-0.3pt
	営業利益	625	718	+14.8%

連結四半期損益実績推移

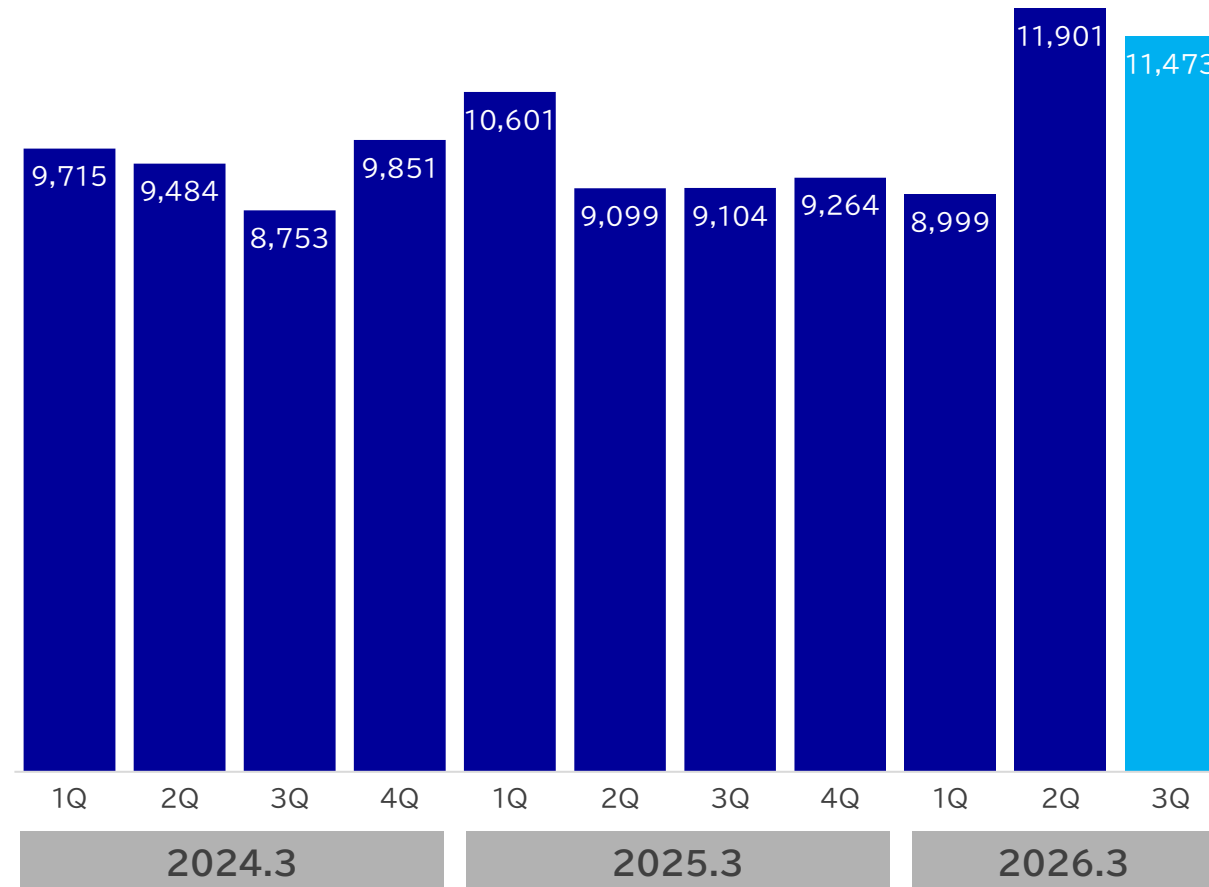
(単位: 百万円)

	2025/3期		2026/3期		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	9,104	9,264	8,999	11,901	11,473
売上原価率	58.4%	55.0%	55.7%	55.2%	52.2%
営業利益	729	1,203	905	2,145	2,149
営業利益率	8.0%	13.0%	10.1%	18.0%	18.7%
経常利益	1,166	1,135	825	2,255	2,297
親会社株主に帰属する 四半期純利益	777	1,071	362	1,884	1,629
1株当り四半期純利益	88.02円	121.26円	41.03円	212.93円	182.78円

参考：連結四半期損益実績推移

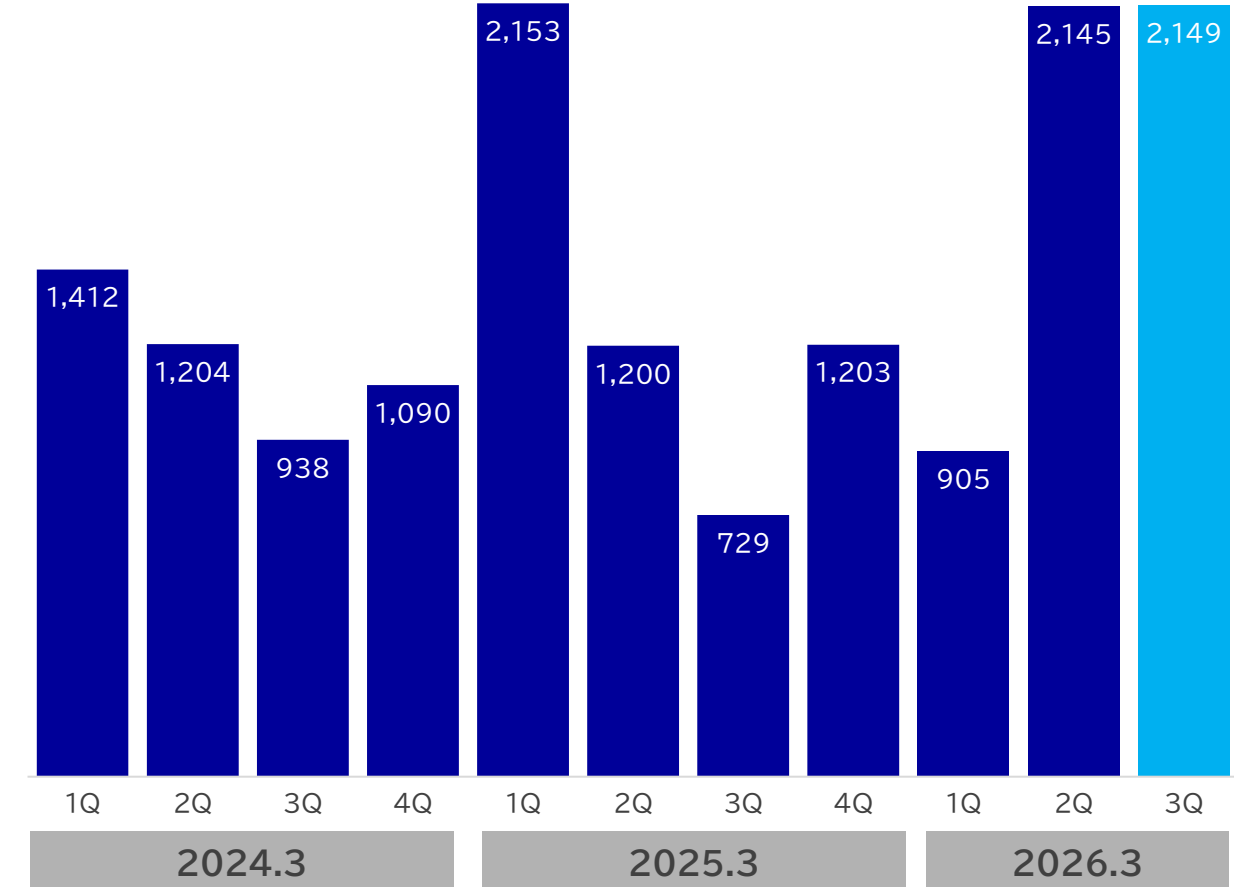
<売上高の推移>

(単位：百万円)



<営業損益の推移>

(単位：百万円)



参考:セグメント別四半期損益実績推移(連結)

(単位: 百万円)

		2025/3期		2026/3期		
		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
Semiconductor	売上高	3,730	4,136	4,888	5,797	7,166
	売上原価率	56.3%	52.8%	48.5%	45.7%	45.0%
	営業利益	87	420	866	1,412	1,880
Life Science	売上高	638	944	516	2,104	262
	売上原価率	75.6%	40.3%	61.6%	62.9%	72.3%
	営業利益	-69	326	-10	546	-51
Digital Communication	売上高	1,131	784	420	365	383
	売上原価率	26.2%	30.5%	52.7%	58.6%	42.4%
	営業利益	518	262	-43	-107	-10
Energy Saving Solution	売上高	3,604	3,398	3,173	3,634	3,661
	売上原価率	67.7%	67.4%	66.1%	65.6%	66.1%
	営業利益	192	195	92	294	331

決算総括

➤ 販売管理費

(単位: 百万円)

2025/3期 3Q累計	2026/3期 3Q累計	差 異
9,216	9,598	+381

- 労務費 +228百万円
- 研究開発費 +130百万円

➤ 営業外損益

(単位: 百万円)

2025/3期 3Q累計	2026/3期 3Q累計	差 異
226	177	-49

2026/3期 3Q累計実績

- 受取利息 144百万円(2025/3期 3Q累計 334百万円)
- 為替差益 40百万円(2025/3期 3Q累計 為替差損 121百万円)

2026年3月期 連結業績見通し

2026年3月期 連結業績見通しの前提と今後の方向性

連結業績

- 通期想定レート(US\$):150円
- 積極的な人的投資、マーケティング投資は継続(期初想定から変更なし 2026/3期 販管費:13,000百万円)

	2026年3月期 連結業績見通しの前提	今後の方向性
Semiconductor	<ul style="list-style-type: none"> • サーバー、車載SoCが好調、前期比大幅増収の見通し • AI用サーバー向けは大手GPUメーカーに加えて、ハイパースケーラー向けのASIC関連の案件が増加の見通し • 車載SoCは新規顧客獲得によるシェア拡大を見込む 	<ul style="list-style-type: none"> • 大手GPUメーカーおよびハイパースケーラー向けのASIC関連、車載SoCの量産受注拡大 • 次世代半導体のテスト市場(システムレベルテスト領域)へ参入
Life Science	<ul style="list-style-type: none"> • 一部量産品の生産終了に伴い上期偏重(7月想定から変更なし) 	<ul style="list-style-type: none"> • マーケティング活動強化による新規顧客/新規製品の獲得 • 既存事業の収益性強化
Digital Communication	<ul style="list-style-type: none"> • Network Solutionは、AI用途等のハイエンド領域における次世代製品(1.6T光トランシーバー用レンズ)の量産は開始したものの、量産タイミングの遅延やレンズコネクタ関連の新規製品の立ち上げ遅れにより、減収の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> • 200Gbps/LaneのVCSELの開発が進捗し、1.6Tの光トランシーバーやトランシーバー以外の事業機会が増加 • 将来の光電融合に向けた事業機会獲得(3.2Tや6.4T向けCPO関連部品の開発進捗、一部サンプル受注) • 光トランシーバー用レンズに加え、レンズコネクタ関連まで事業領域を拡大
Energy Saving Solution	<ul style="list-style-type: none"> • 電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大(10月想定から変更なし) 	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスを推進 • Electric / Electronics領域における新商材の開発推進

2026年3月期 連結業績見通し

(単位: 百万円)

	2026/3期	2026/3期	
	3Q累計実績	10月時点の見通し	1月時点の見通し
売上高	32,374	41,000	42,500
売上原価率	54.3%	55.4%	54.7%
営業利益	5,200	5,300	6,300
営業利益率	16.1%	12.9%	14.8%
経常利益	5,378	5,500	6,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,876	4,100	4,700
1株当り当期純利益	437.05円	462.21円	523.14円
配当金	45.00円	90.00円	90.00円

2026年3月期 セグメント別売上見通し

(単位: 百万円)

	2026/3期	2026/3期	
	3Q累計実績	10月時点の見通し	1月時点の見通し
Semiconductor	17,851	22,000	23,700
Life Science	2,882	3,000	3,000
Digital Communication	1,170	2,000	1,800
Energy Saving Solution	10,469	14,000	14,000

参考:2026年3月期 設備投資・減価償却・研究開発の見通し

	2025/3期	2026/3期	(単位: 百万円)
	通期実績	3Q累計実績	2026/3期 通期
設備投資	6,944	6,316	7,500
長期投資・環境投資	3,872	3,792	3,800
成長分野への投資	1,213	1,180	2,200
その他の設備投資	1,859	1,344	1,500
減価償却	2,417	1,735	2,300
研究開発	1,502	1,208	1,600

※減価償却以外は2025年4月30日の業績見通しから変更してありません。

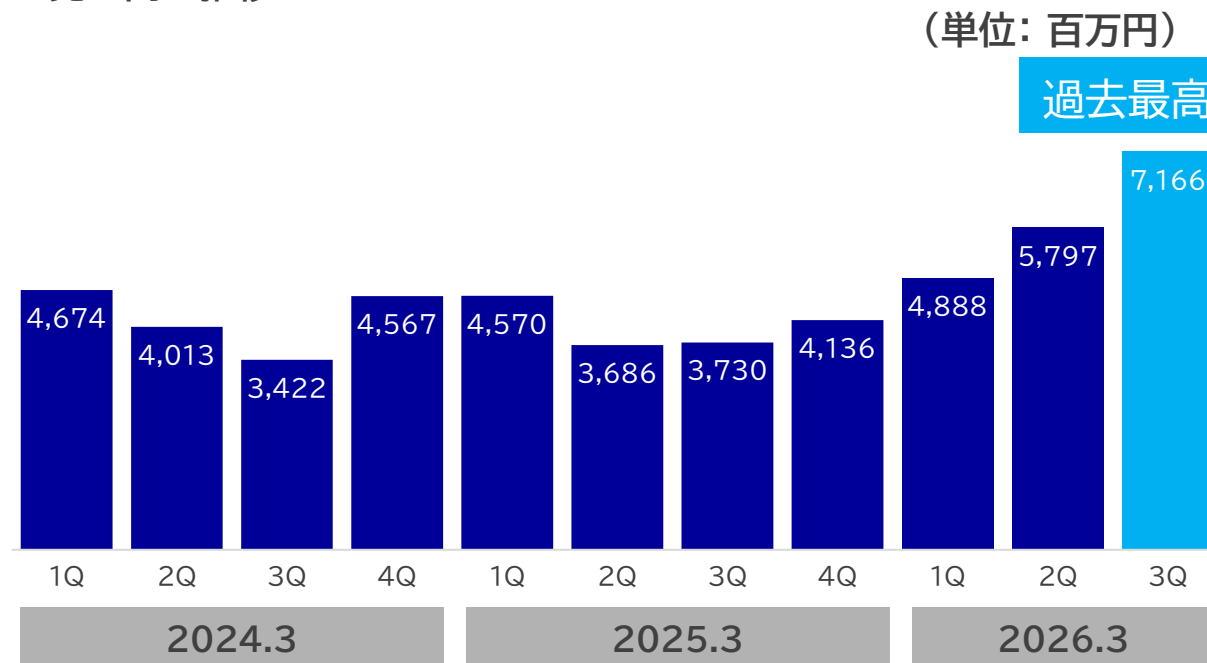
参考

参考: Semiconductor事業

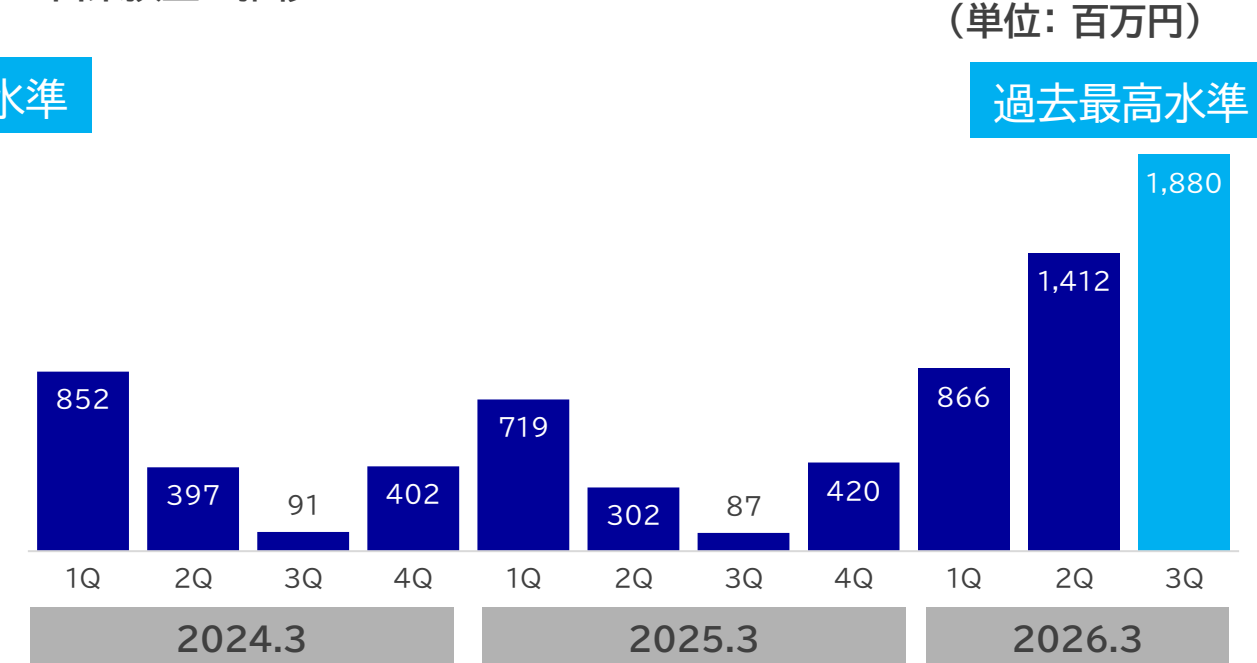
事業戦略

- ① 事業機会を最大限に取るために米国を中心としたマーケティング投資拡大
- ② 特定技術領域の武器を磨き、成長市場におけるバリューチャンピオンを目指す
 - 成長市場: AIサーバー、汎用サーバー、モバイル、車載SoC
 - Test Socket: 次世代半導体のテスト市場へ参入
- ③ 事業環境の変化に柔軟に対応するサプライチェーン構築

<売上高の推移>



<営業損益の推移>



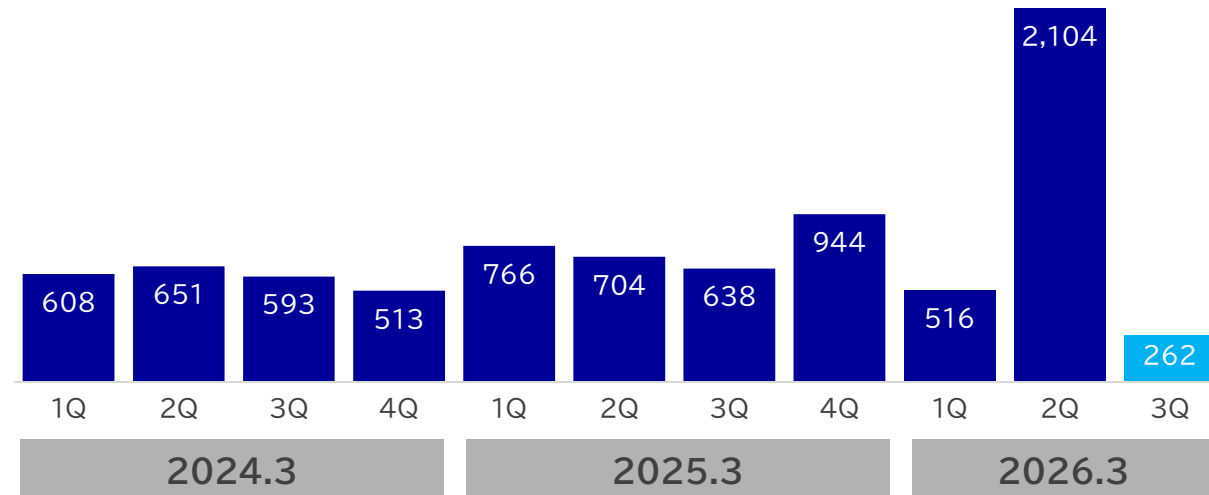
参考:Life Science事業

事業戦略

- ① リキッドバイオプシー・がん診断用途デバイスにフォーカス
- ② マイクロ流路チップ領域での新用途開発の推進
- ③ 既存顧客ネットワークの深堀
- ④ 機能評価と流体制御技術で付加価値を提供

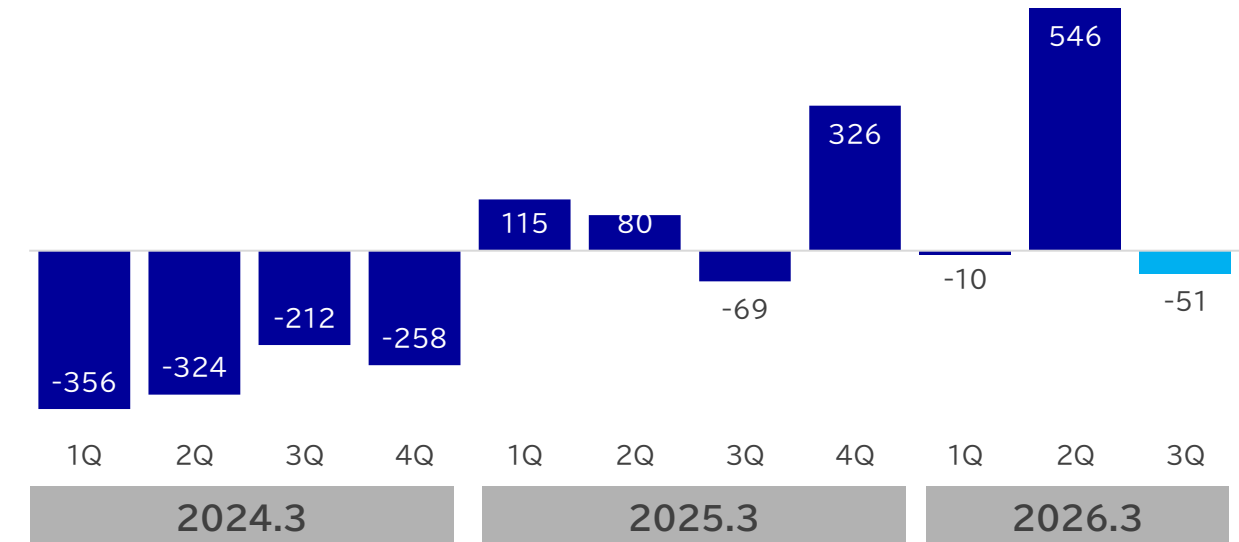
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



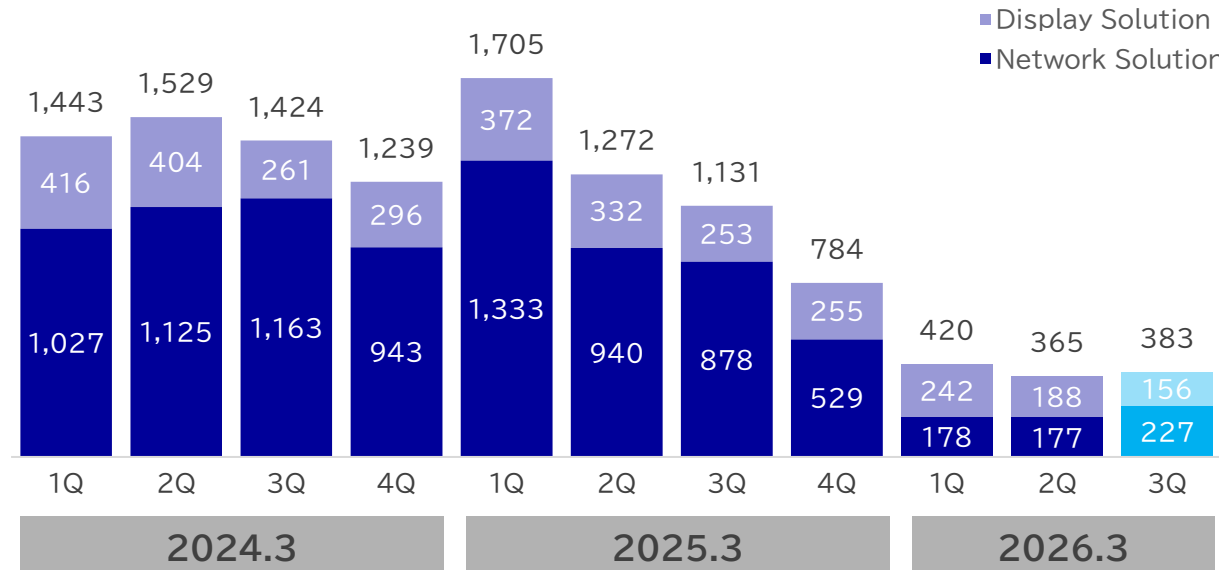
参考: Digital Communication事業

事業戦略

- ① VSR(短距離通信)市場のイノベーションを創出
- ② 大規模データセンターの課題解決(熱、故障、互換性)への貢献
- ③ マーケティング強化による光電融合分野、非光分野の新用途・製品開発
- ④ AIの社会実装により、今後成長が見込める市場(Network Solution、Display Solution)へ新たな価値(新機能、新製品)を提供

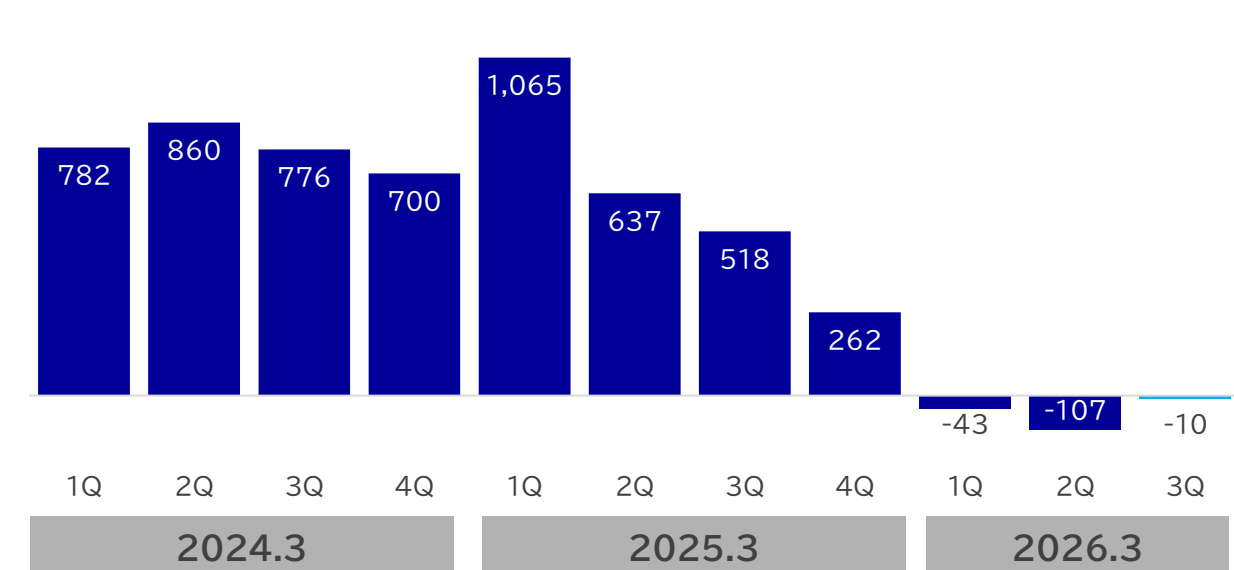
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



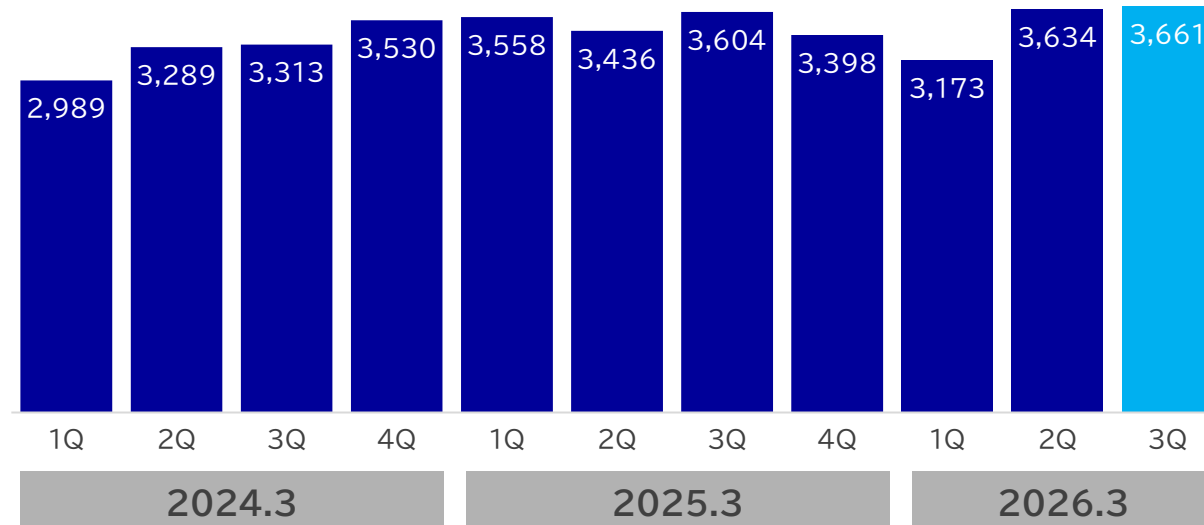
参考:Energy Saving Solution事業

事業戦略

- ① 世界No.1のギヤソリューションプロバイダーを目指しビジネスモデルの変革を行う
- ② Electric / Electronics領域における新商材開発により新たな顧客価値を創出する
- ③ 既存ビジネスにおける収益力強化

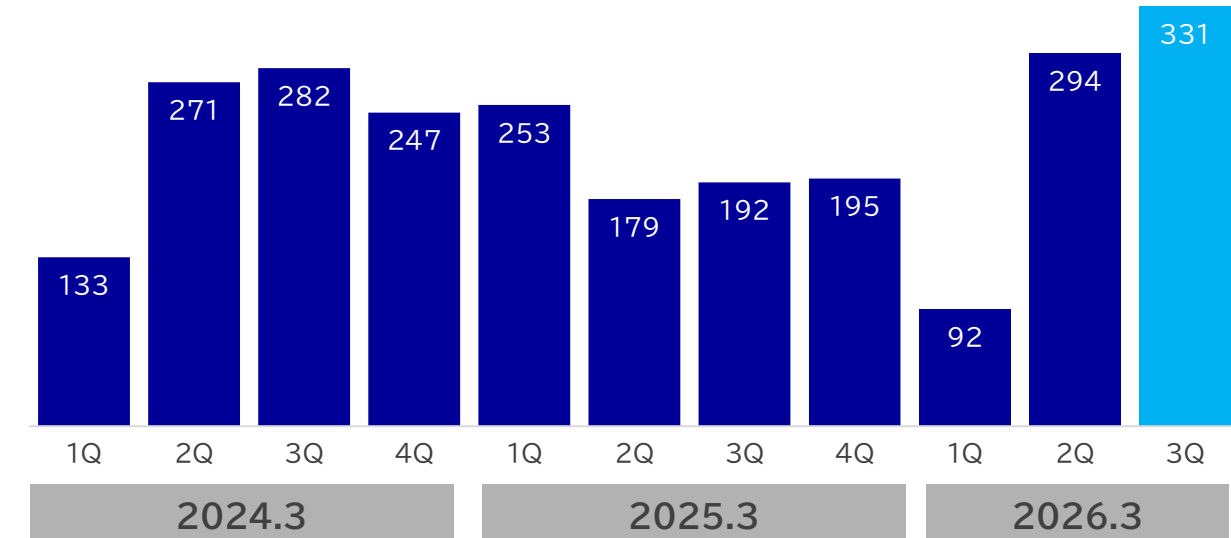
<売上高の推移>

(単位: 百万円)



<営業損益の推移>

(単位: 百万円)



参考：中期経営計画

中期経営計画につきましては、2025/4/30に公表しております。

<https://www.enplas.co.jp/ir/mt/>

中期経営方針(2026/3期-2028/3期)

ソリューションプロバイダーとして顧客価値を創出する

スローガン

One Enplas for Growth

株式会社エンプラス 決算説明会

<https://www.enplas.co.jp/>

(東証プライム 6961)

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。